

SEIBIKAN

環境経営レポート 2023

対象期間 2023 年 6 月～2024 年 5 月

株式会社清美環

発行日 2024 年 8 月 1 日

目次

環境経営方針	1
1. 基本理念	
2. 行動指針	
組織の概要	2
1. 名称及び代表者名	
2. 所在地	
3. 法人設立年月日	
4. 環境経営管理責任者氏名及び担当者と連絡先	
5. 事業活動内容	
6. 事業の規模	
7. 事業年度	
8. 許可の内容	
9. 収集運搬実績	
10. 車両保有台数	
11. 実施体制	
環境負荷の調査結果	3
環境負荷の削減目標と目標に対する実績	7
目標に対する実績及び主要な環境活動計画の取組結果の評価	8
次年度の取組内容	12
環境関連法規等遵守状況の確認、及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無	13
代表者による全体評価と見直し結果	14

環境経営方針

1. 基本理念

環境の改善は企業の社会的責任であることを深く認識し、建設業の事業活動を通じて、環境経営システムの継続的改善を図り、環境負荷の低減や環境負荷低減に貢献する活動を次により自主的・積極的に推進します。

2. 行動指針

1) 以下の項目に環境経営目標を設定し、取り組みます。

- ①電力使用及び運搬車両・清掃車で使用する燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②分別の徹底と再使用・再資源化を推進し、産業廃棄物の削減及び一般廃棄物の削減
- ③日常的な節水による水使用量の削減
- ④事務用品や建設資材のグリーン購入・調達の推進
- ⑤事故ゼロの推進

2) 環境に関して適用を受ける法的要求事項等を遵守します。

3) 全ての従業員の環境に関する意識を高め、全員で環境改善に取り組みます。

4) この環境経営方針を当社で働く全ての従業員に周知します。

2022（令和4）年9月1日

株式会社清美環

代表取締役 小林千尋

組織の概要

1. 名称及び代表者名

株式会社清美環

代表取締役 小林 千尋

2. 所在地

本社 神奈川県相模原市南区新磯野 388 番地 1 号

3. 法人設立年月日

1992（平成 4）年 12 月 8 日

4. 環境経営管理責任者氏名及び担当者と連絡先

責任者 代表取締役 小林 千尋

担当者 小林 千尋

TEL：（042）765-4100 FAX：（042）765-1183

E-mail：info@seibikan.com

URL：http://www.seibikan.com/

5. 事業活動内容

下水道管・側溝清掃、排水管洗浄、ビルメンテナンス、ダイオキシン類除染、
産業廃棄物収集運搬、施設洗浄、解体・設備工事、TV カメラ調査

6. 事業の規模

資本金 800 万円

売上高 2 億 9,011 万円

(2024 年第 33 期実績)

主な受託件数 815 件 (2023 年 6 月～2024 年 5 月)

7. 事業年度

6 月 1 日～翌年 5 月 31 日

8. 許可の内容

1) 産業廃棄物収集運搬業許可

① 神奈川県許可番号 01402008469

許可年月日：令和 5 年 9 月 21 日 有効年月日：令和 10 年 9 月 20 日

収集運搬（積替・保管を除く）

汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶器くず、がれき類

② 東京都許可番号 13 s 002008469

許可年月日：令和 5 年 11 月 12 日 有効年月日：令和 10 年 11 月 11 日

収集運搬（積替・保管を除く）

汚泥、廃油、廃プラスチック類

③ 山梨県許可番号 01900008469

許可年月日：令和 5 年 2 月 5 日 有効年月日：令和 10 年 2 月 4 日

収集運搬（積替・保管を除く）

汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック、ガラスくず・コンクリートくず・及び陶器くず、がれき類

④ 千葉県許可番号 01200008469

許可年月日：令和 5 年 4 月 14 日 有効年月日：令和 10 年 3 月 25 日

収集運搬（積替・保管を除く）

汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ガラスくず、コンクリートくず、陶器くず、がれき類

⑤ 埼玉県許可番号 01101008469

許可年月日：令和 4 年 11 月 28 日 有効年月日：令和 9 年 11 月 25 日

収集運搬（積替・保管を除く）

汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず・及び陶器くず、がれき類

2) 建設業許可

許可番号 神奈川県知事 許可（般－26）第 63616 号

有効期間 令和 2 年 1 月 13 日 ～ 令和 7 年 1 月 12 日

9. 収集運搬実績

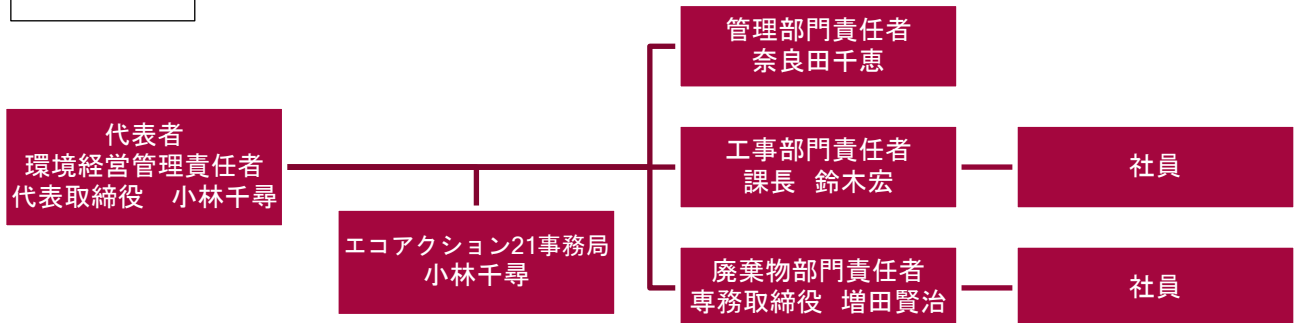
汚泥 419.75t

10. 運搬車両保有台数

車両種類	台数	内訳
強力吸引車	4 台	4t×2、3t×1、2t×1
高圧洗浄車	4 台	4t×1、2t×2、軽×1
給水車	1 台	4t×1
トラッククレーン車	1 台	3t×1
カメラ車	1 台	普通×1
トラック	3 台	4t×1、2t×2
乗用車	5 台	普通×2、軽×3

11. 実施体制

組織図



役割

代表者

1. 取組の対象組織・活動の明確化
2. 環境経営方針の作成、全従業員に周知
3. 実施体制の構築
4. 代表者による全体の評価と見直し・指示
5. 環境経営レポートの承認

環境管理責任者

1. 環境への負荷と環境への取組状況の把握及び評価
2. 環境関連法規などの取りまとめ
3. 環境経営目標及び環境経営計画の策定
4. 環境コミュニケーションの実施
5. 取組状況の確認・評価、並びに問題の是正及び予防
6. 文書類の作成・管理
7. 環境経営レポートの作成、確認・公表

部門責任者

1. 教育・訓練の実施
2. 実施及び運用
3. 環境上の緊急事態への準備及び対応

全従業員

1. 環境経営方針の理解及び環境問題の現状と環境への負荷削減に向けた取組の重要性の自覚
2. 自らの役割及び実施しなければならない取組・責任の認識

環境負荷の調査結果

過去 3 年間の環境負荷実績

過去 3 年間の環境負荷実績は次の通りです。

環境への負荷		単位	2021 年度	2022 年度	2023 年度
CO ₂ 排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂ ^{注1}	108,276	94,952	106,557
エネルギー使用量	電 気	kWh	12,120	12,566	14,638
	ガ ソ リ ン	L	6,354	7,056	6,922
	軽 油	L	33,997	28,119	32,362
	L P ガ ス	kg	159	163	181
水 使 用 量	上 水	m ³	807	716	923
一 般 廃 棄 物	総排出量	kg	961	509	741
産 業 廃 棄 物	総排出量	m ³	8.4	1,857	9.4
グリーン購入の推進	購入回数	点	- ^{注2}	-	
クレーム件数の削減	クレーム状況	件	0	0	0
移動時の無事故	事故件数	件	0	0	0

注 1 電力の CO₂ 排出係数は環境省が公表する『電気事業者別排出係数一覧』に基づき、東京電力エナジーパートナー(株)の 2020 年度実績の 0.441kg-CO₂/kWh を用いて算出しています。

注 2 各年度を通してグリーン購入はありませんでした。

環境負荷の削減目標と目標に対する実績

案件毎に現場が異なるため、原単位（売上 100 万円あたり）での削減を目標としました。

2021 年度～2024 年度の目標は、基準年 2020 年の実績に対する削減率としています。

単位：売上 100 万円あたり

項目	年度	【基準年】	【今回活動期間】		【目標年】		
		2020 年度	2023 年度		2022 年度	2023 年度	2024 年度
		実績 (総量) 原単位 売上 235 百万円	目標 削減率 原単位	実績 (総量) 原単位 売上 290 百万円	目標 削減率 原単位	目標 削減率 原単位	目標 削減率 原単位
CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	注 3	(103,182) 439.1	3%削減 425.9	(106,557) 367.4	2%削減 430.3	3%削減 425.9	3%削減 425.9
エネルギー 使用量	電気 (kWh)	(11,907) 50.7	3%削減 49.2	(14,638) 50.5	2%削減 49.7	3%削減 49.2	3%削減 49.2
	ガソリン (L)	(5,889) 25.1	3%削減 24.3	(6,922) 23.9	2%削減 24.6	3%削減 24.3	3%削減 24.3
	軽油 (L)	(32,495) 138.3	3%削減 134.2	(32,362) 111.6	2%削減 135.5	3%削減 134.2	2%削減 134.2
	LP ガス (kg)	(144) 0.61	3%削減 0.59	(181) 0.62	2%削減 0.60	3%削減 0.59	3%削減 0.59
水使用量 (m ³)		(812) 3.5	3%削減 3.4	923 (3.2)	2%削減 3.4	3%削減 3.4	3%削減 3.4
一般廃棄物排出量 (kg)		(787) 3.3	3%削減 3.2	741 (2.6)	2%削減 3.2	3%削減 3.2	3%削減 3.2
産業廃棄物排出量 (m ³)		(17.8) 0.1	3%削減 0.1	9.4 (0.03)	2%削減 0.1	3%削減 0.1	3%削減 0.1
グリーン購入の推進		—	グリーン商品の 購入に努める	○	グリーン商品の 購入に努める	グリーン商品の 購入に努める	グリーン商品の 購入に努める
クレーム件数の削減		クレーム 0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
移動時の無事故		0 件	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

注 1 電力の CO₂ 排出係数は環境省が公表する『電気事業者別排出係数一覧』に基づき、東京電力エナジーパートナー(株)の 2020 年度実績の 0.441kg-CO₂/kWh を用いて算出しています。

注 2 2020、2021、2022 年度の間、グリーン購入はありませんでした。

なお、エコアクション調査開始以来購入実績が無いので、今後は努力目標として設定します。

注 3 当社は PRTR 法に基づく化学物質の使用実績はありません。

目標に対する実績及び

主要な環境活動計画の取組結果の評価

目標に対する実績と、具体的な環境への取り組みの結果と評価は次の通りです。

達成率
(数値目標)

90%以上 … ★★★★★
60%以上 … ★★★☆
60%未満 … ☆

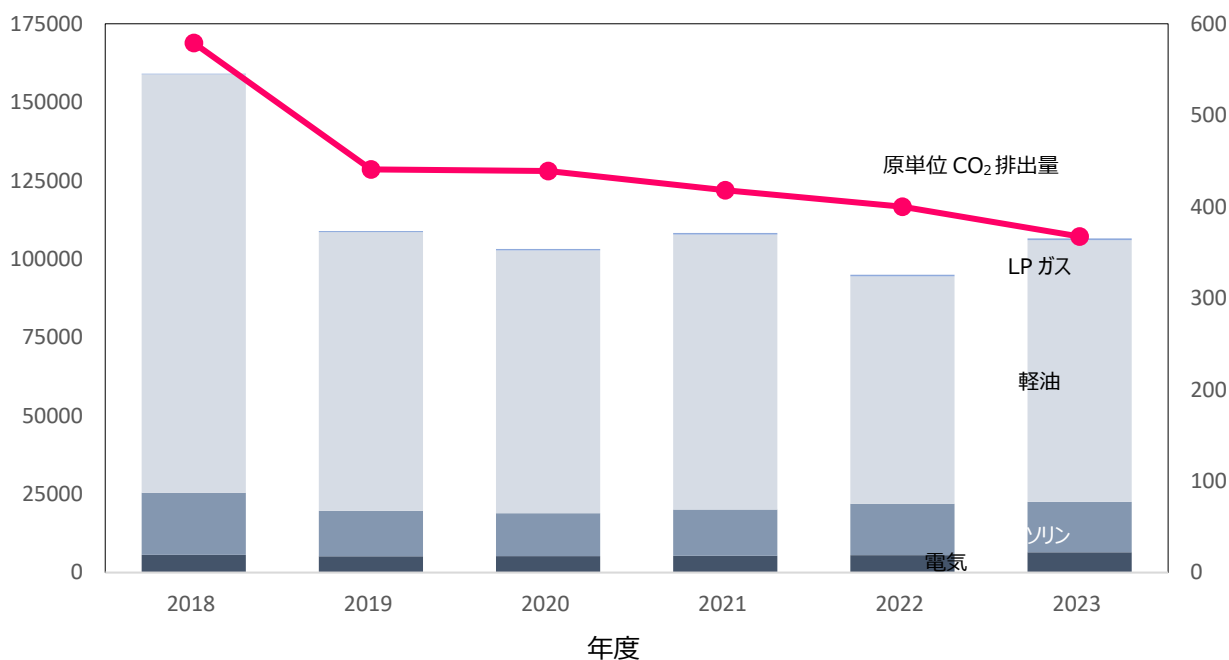
CO₂ 排出量

CO ₂ (kg-CO ₂)	<2023 年度目標> 2020 年度比 3 % 削減（原単位）		達成率
	目標値	実績値	116 % ★★★★★
	425.9	367.4	

今年度の使用エネルギー（電気・ガソリン・軽油・LP ガス）を合わせた CO₂ 排出量は 367.4kg-CO₂（原単位）で、目標を達成できました。

総 CO₂ 排出量
(kg-CO₂)

原単位 CO₂ 排出量
(kg-CO₂)

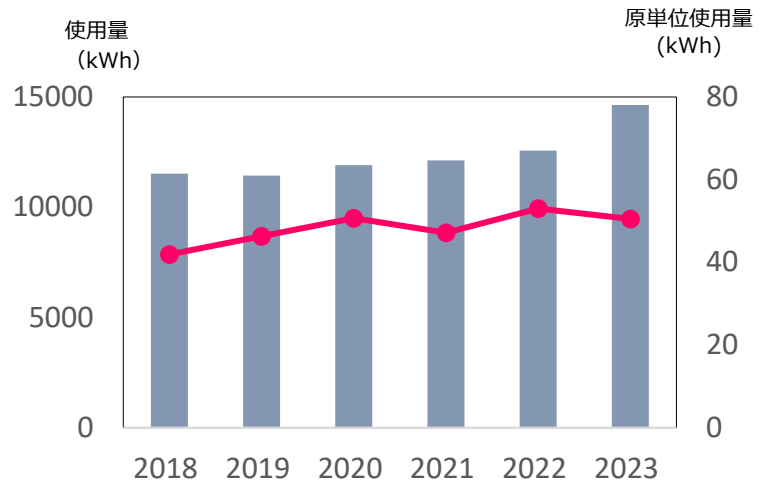


電気

電気 (kWh)	<2023 年度目標> 2020 年度比 3% 削減 (原単位)		達成率 97% ★★★
	目標値	実績値	
	49.2	50.5	

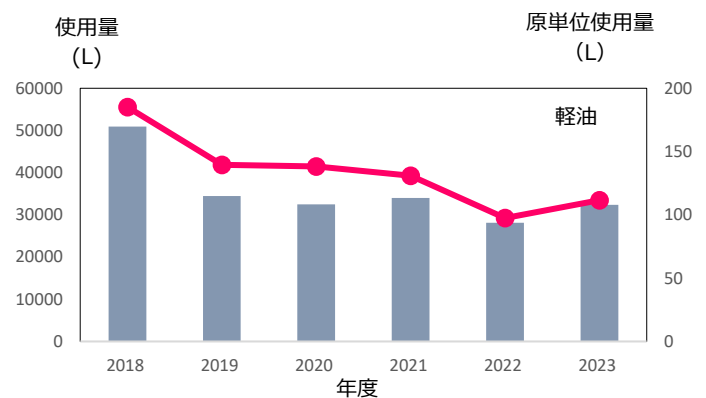
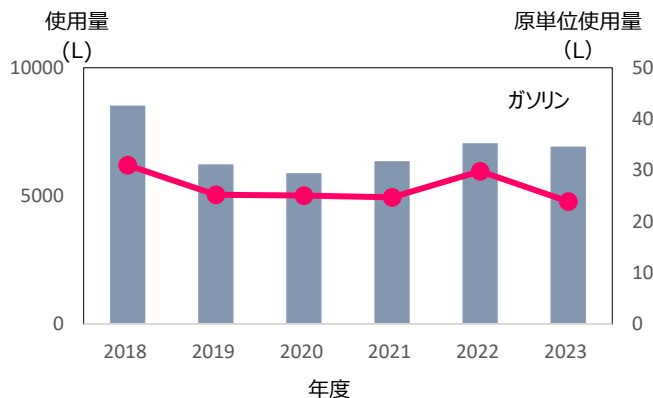
今年度の電気使用量は 50.5kWh（原単位）で、53.0 から改善を図ることはできましたが、目標を達成することはできませんでした。夏場と冬場の冷暖房に大幅に使用量が増加しています。電気の使用においては、以下の事柄に努め節電に取り組んできました。

- ①不使用照明の消灯 ②OA 機器や各種電気製品のセーブモード設定 ③室内温度設定の適温化
- ④適切な電動工具の使用



ガソリン・軽油

ガソリン (L)	<2023 年度目標> 2020 年度比 3% 削減 (原単位)		達成率 101% ★★★
	目標値	実績値	
	24.3	23.9	
軽油 (L)	目標値	実績値	120% ★★★
	134.2	111.6	



今年度は、ガソリン・軽油共に目標を達成することができました。

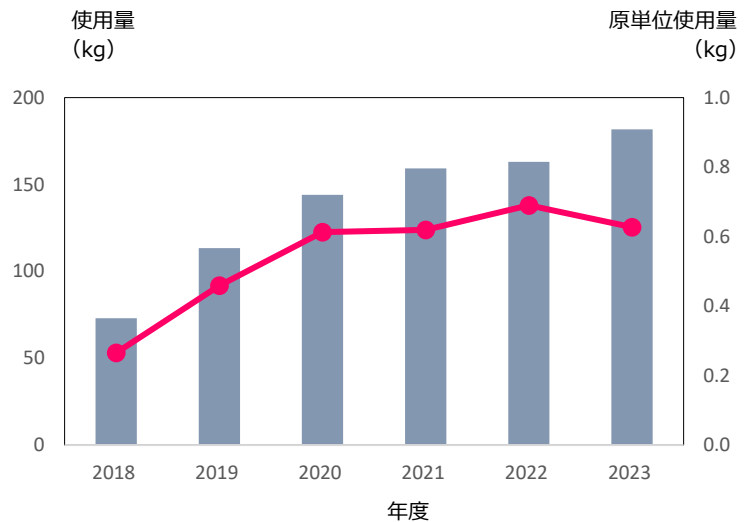
ガソリンは、昨年度達成ができませんでしたが、プラグインハイブリッド車を導入するほか、次の取組みを行い目標を達成できました。

- ①エコドライブの励行 ②タイヤ空気圧の定期的な確認 ③定期的な車両整備 ④不要荷物の不積載

LP ガス

LP ガス (kg)	<2023 年度目標> 2020 年度比 3% 削減 (原単位)		達成率 95 % ★★★
	目標値	実績値	
	0.59	0.62	

今年度の LP ガス使用量は 0.62kg (原単位) で、目標値の 0.59 を達成できませんでした。冬季 1～3 月で使用量の増加があり、通年で 4.6 kg の使用量が増加しました。冬季に、お湯を使つての車両洗浄作業を行ったことによる影響があったものと推察します。



水

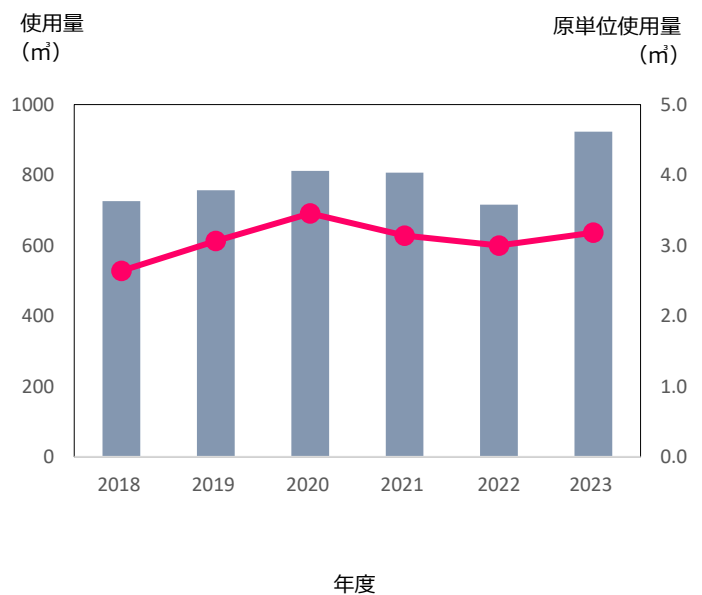
水 (m)	<2023 年度目標> 2020 年度比 3% 削減 (原単位)		達成率 106 % ★★★
	目標値	実績値	
	3.4	3.2	

今年度の水使用量は 3.2 m³ (原単位) で、使用量全体は増加していますが、原単位の目標は達成できました。水の使用においては、日頃より以下の事柄に努め節水に取り組んできました。

- ① 節水表示
- ② 節水コマの導入
- ③ 手洗いや洗い物、洗車時の流し放し厳禁



節水表示の様子

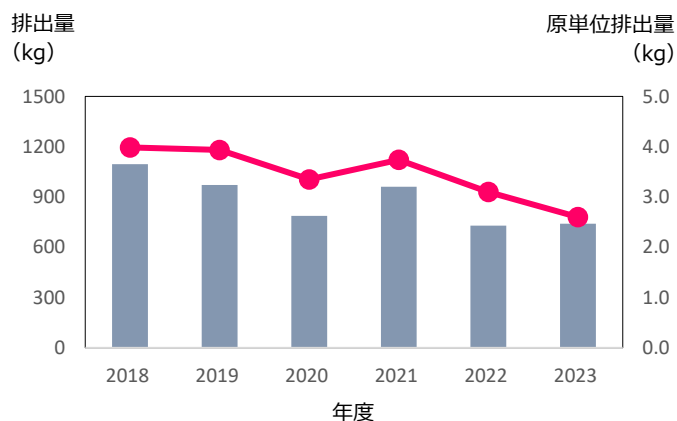


一般廃棄物

一般廃棄物 (kg)	<2023 年度目標> 2020 年度比 3% 削減(原単位)		達成率
	目標値	実績値	
	3.2	2.6	123 % ★★★

今年度の一般廃棄物排出量は 2.6（原単位）で、目標を大幅に達成できました。

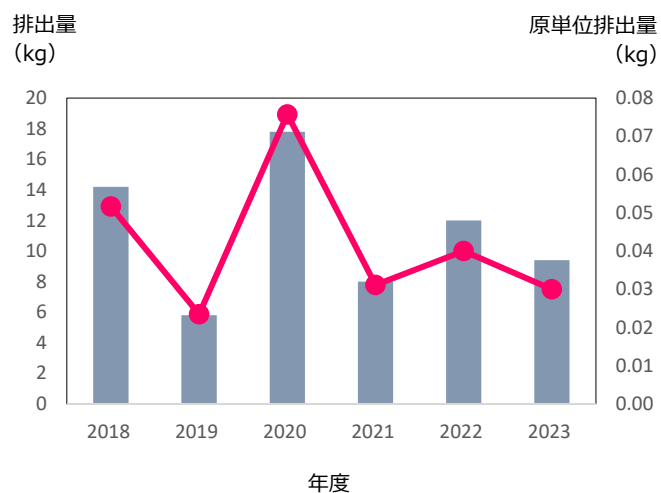
事業の拡大はしましたが、排出量は微増でしたので、原単位は削減できました。ごみの排出削減に取り組んだ成果が現れたものと思われます。



産業廃棄物

産業廃棄物 (㎡)	<2023 年度目標> 2020 年度比 3% 削減(原単位)		達成率
	目標値	実績値	
	0.07	0.03	233 % ★★★

今年度の産業廃棄物排出量は原単位で 0.03 ㎡で、目標をクリアできた。2020 年度に大幅に産業廃棄物が発生したが、その他の産業廃棄物発生量は減少しており、全体としては目標を達成できた。



種類毎の保管場所を明記し、分別を徹底

次年度(2024 年度)の取り組み内容

次年度の環境経営計画の取り組み内容は次の通りです。

項目		環境方針目標	環境経営取組内容
CO ₂ の削減	電気 使用量の削減	2020 年度比 3%削減	①不要な照明の消灯徹底 ②室内温度管理の徹底 （冷房使用時 28℃、暖房使用時 20℃） ③エアコン室外機の冷却対策 ④OA 機器のセーブモード設定 ⑤省エネ機器への切り替え ⑥適正な電動工具使用の検討
	ガソリン・軽油 使用量の削減		①エコドライブの励行 ②タイヤ空気圧の定期的な確認 ③定期的な車両の点検整備 ④不要荷物の不積載 ⑤エコ車両の導入
	LP ガス 使用量の削減		①使用適正温度の留意 ②省エネ機種導入の検討
水 使用量の削減			①節水表示 ②節水コマの導入 ③手洗いや洗い物、洗車時の流し放し厳禁
一般廃棄物 排出量の削減			①廃棄物分別の徹底 ②ミスプリント・コピーの削減 ③情報共有システムの活用
産業廃棄物 排出量の削減			① 廃棄物分別の徹底 ② 現場排出量の削減努力 ③産廃マニフェストの発行と適正管理
クレーム件数の削減		0 件	①朝礼後作業エリア内での完全実施 ②作業内容・安全確認の周知徹底
移動時の無事故		0 件	①帰宅までの気持ち引き締め ②アルコールチェックの完全実施 ③道路交通法の遵守

環境関連法規等遵守状況の確認、及び 評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

当社に関連する主な法規制は次の通りです。

2024 年 6 月に遵守状況を確認した結果、関連法規の違反・訴訟はありませんでした。

また、訴訟等、関連機関からの指摘、地域住民からの苦情ありませんでした。

区分	環境関連法規等名称	遵守状況
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
	相模原市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等の推進に関する条例	○
資源循環	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	○
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 (小型家電リサイクル法)	○
	使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	○
	建設工事に係わる資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	○
騒音・振動	騒音規制法	○
	振動規制法	○
	神奈川県生活環境の保全等に関する条例	○
水質汚濁	浄化槽法	○
大気汚染	フロン排出抑制法	○
	自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における 総量の削減等に関する特別処置法 (自動車 NO _x ・PM 法)	○
	特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (オフロード法)	○

代表者による全体評価と見直し結果

見直し実施日	2024 年 6 月 30 日（ ■ 定期見直し □ 臨時見直し ）		
対象期間	2023 年 6 月 1 日～2024 年 5 月 31 日		
出席者	代表者、環境管理責任者		
前回指示に対する 取組結果	項目	前回指示内容 (2023 年 6 月 30 日)	指示内容に対する 取組結果
	【環境経営方針】に関して	変更の必要なし	継続して活動を行った
	【環境経営目標及び環境経営活動】に関して	変更の必要なし	継続して活動を行った
	【環境経営システム等】に関して	変更の必要なし	継続して活動を行った
見直しに必要な 情報	①環境関連法規の遵守状況（環境関連法規等の遵守記録） ②環境経営目標の達成状況及び環境経営活動計画の実施及び運用結果（環境経営活動計画書） ③問題点の是正処置及び予防処置の結果（是正処置／予防処置報告書） ④外部からの環境に関する苦情や要望（外部コミュニケーション記録） ⑤その他（法規則の動向や各種訓練結果報告等）		
代表者による 評価	<環境経営システムが有効に機能しているか> 社員一人一人が各自の役割を理解して取り組みを行い、目標に向けて活動を行った。 法規等の遵守状況には問題はなく、是正の必要な問題や外部からの苦情も発生しておらず、システムは有効に機能している。 <環境への取り組みが適切に実施されているか>		
	目標項目	目標達成状況	情報と評価
	CO2 排出量の削減	○	達成率 116% 軽油の使用量や、一般廃棄物及び産業廃棄物の排出量が削減されたことにより、目標達成ができた。
	廃棄物排出量の削減 (一般廃棄物)	○	達成率 123% 排出削減に努めた効果があったものとする。
	廃棄物排出量の削減 (産業廃棄物)	○	達成率 233% 大幅に削減を図ることができた。
	水使用量の削減	○	達成率 106% 節水表示を行い節水を心掛けた。
	現場時に必ず K Y 実施	○	全社員に周知し、現場 KY ミーティングを徹底した。
	通勤時自宅⇄会社⇄現場間無事故	○	毎日全社員に呼びかけを実施した。
代表者による 見直しと総括	【環境経営方針】 変更の必要性 : なし 環境改善への活動を企業全体で取り組み、意識の向上を高める。		
	【環境経営目標及び環境経営活動】 変更の必要性 : なし 指示事項 : 節電に努め、冬季 LP ガスの使用量をチェックし無駄を無くす。		
	【環境経営システム等】 変更の必要性 : なし 全社員が共通の認識をもって環境活動を推進する。		
	《総括》 環境経営方針、環境経営目標を定め、従業員全員が環境経営目標のどれかの推進責任者として自覚しながら、全員で取り組んできました。社員一人一人の取組意識は高いように思われます。この成果が一時的なもので終わらないよう、さらなる意識の向上と実践を継続していきたいと考えます。		



seibikan.com